



AEDを用いた心肺蘇生法の手順



①意識の確認



片方の手を額に当て、もう一方の手で肩を軽くたたきながら「大丈夫ですか」または「もしもし」と呼びかけ、反応がなるかないかを見る。

②救急車とAEDの要請



意識がなければ大きな声で「誰か着てください」と助けを求め、協力者が来たら「119番へ通報し、AEDを持って来て下さい」と指示する。

③気道確保



片方の手を額にあて、もう一方の手の人差指と中指の2本で舌先を引き上げ、気道を確保する。

④呼吸の確認



頬を傷病者の口・鼻に近づけ呼吸の音を確認すると共に自分の頬に傷病者の吐く息を感じ取る。胸や腹の上下の動きを10秒以内で調べる。

⑤人工呼吸



呼吸がなければ、額に当てた手の親指と人差し指で傷病者の鼻をつまみ、自分の口を大きく開けて傷病者の口を覆い、傷病者の胸が軽く膨らむ程度【500～800ml (10ml/体重 1kg)】の息をゆっくりと2回吹き込む。

⑥循環のサイン確認



気道確保したまま呼吸があるかないかを調べ、続いて全身を見回して咳をするか、体が動くかを10秒以内で調べる。

AEDがある時

⑦パッドの装着



AEDが到着したら電源を投入し、衣類を取り除いた後、パッドを装着する。胸の濡れ、貼り薬の除去、ペースメーカーの有無、金属製ネックレスの除去に注意する。

⑧心電図の解析



心電図の解析中は、除細動を加える必要があるかどうかを調べているので、この間は、傷病者からはなれていなければならぬ。

⑨ショックの実施



解析の結果、除細動が必要と判断されると充電が始まり、完了すれば除細動ボタンを押すと指示が出る。誰も傷病者に触れていないのを確認してからボタンを押す。

⑩循環のサイン確認



除細動は必要ありませんというメッセージが出たら、AEDを装着したまま循環のサインを確認し、循環のサインが無ければ心肺蘇生法を実施する。

⑪心臓マッサージ



循環のサインがなければ、傷病者の胸骨の下半分に手の平の根元を置き、他方の手をその上に重ね、そのまま両手をまっすぐに伸ばして体重をかけ、胸が3.5～5cm下方に圧迫されるように、1分間に100回の早さで15回圧迫する。

⑫心肺蘇生法



15回の心臓マッサージと2回の人工呼吸を4サイクル行った後に、循環のサインの確認を10秒以内で行う。循環のサインがなければ心臓マッサージと人工呼吸を15:2で繰り返し、2～3分毎に循環のサインの確認をしながら救急車の到着を待つ。

救急車の利用は適正に！

～救急車はタクシーではありません。
「救命」のための緊急車です～



夜間や休日の救急病院は？

①電話でわかります

やすみもよるも まる まる 救急
☎: 846-0099
(月～金: 17:00～翌9:00 土曜・休日: 9:00～翌9:00)

②新聞でわかります

新聞朝刊の神戸版に掲載しています

③インターネットでわかります

神戸市ホームページ 救急医療ネット (休日・夜間も利用可能) へ

通院や退院する場合のサービスは？

通院、入退・退院などの患者移送サービスがあります

(株)川嶋本店 ☎: 731-2500
(株)交通救護センタークサカ ☎: 595-1199
(株)ユニ介護 ☎: 652-9551

※24時間受付可能、有料です。

緊急の病気や事故のとき？

あわてず、落ち着いて **119**